

日本建築学会近畿支部 耐震構造研究部会 活動履歴（～2011年度）

- 2011.12 シンポジウム「内陸直下型地震と海溝型地震のどちらに備えればよいか？ <増大する地震動レベルに対する設計>」
- 2011.10 第2回勉強会「新宿駅周辺地域における減災への取組と東日本大震災での超高層建物の揺れと被害」
講師：久田嘉章教授（工学院大学）
- 2011.6 第1回勉強会「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震で得られた知見」
講師：佐藤俊明氏（清水建設技術研究所）
- 2010.10 シンポジウム「パルス性地震動に対する建物の応答特性を考える」
- 2009.10 シンポジウム「内陸地震に対して構造設計者はどう対応すればよいか？ “地震荷重と構造設計”」
- 2009.1 シンポジウム「上町断層帯による想定地震動に対する建物の耐震設計を考える」
- 2007.3 シンポジウム「大阪を襲う内陸地震に対して建物をどう耐震設計すればよいか？」
- 2006.1 シンポジウム「地震動予測と減災への取り組み」
- 2004.11 シンポジウム「大阪平野を襲う長周期地震動」
- 2003.11 シンポジウム「耐震性の向上を目指した新しい技 - 建築構造の性能評価に基づいて - 」
- 2002.11 シンポジウム「20XX年の南海地震を考える」
- 2001.10 シンポジウム「建物・地盤の動的相互作用」 - 限界耐力計算にどう活かすか
- 2001.2 シンポジウム「21世紀における耐震設計の動向と展望 兵庫県南部地震の経験を踏まえて」
- 1999.12 講演会「構造設計者が試みた - 大阪平野の断層を想定した模擬地震動作成」
- 1999.7 シンポジウム「性能規定化における構造関係指針検討の最新動向」
- 1998.11 講演会「入力地震動の最近の動向 - strength Design code change in the united states, 断層を想定した強震動予測と大阪府域への適用 - 」
- 1998.6 シンポジウム「基礎の耐震設計について - 震災の点検から性能設計に向けて - 」
- 1997.12 シンポジウム「目で見える構造物の破壊現象 - 震災後の大型構造実験で何が分かったか」
- 1997.6 シンポジウム「性能設計への展望」